



# 環境活動ノート



1 枚目

活動名

「夢の森」づくり～夢の森づくりは未来へのプレゼント



活動内容を  
記入して  
ください



さっぽろ  
こども環境  
コンテスト  
2025

はじめに

本校では、石狩地域森林ふれあい推進センターの方々の御指導のもと、安全面に配慮を重ねた上で、郷土の森（夢の森）について学び、保全し、伝える教育活動を推進しています。

「来てくれた？来てくれるかな？」では、事前学習で学校で作った野鳥の巣箱を設置しました。脚立や紐を使って安全に取り付け、森の生き物との共生を意識する活動となりました。「来年も鳥が来てくれるといいな」と期待を込めながら作業し、自然への思いやりが感じられました。

「樹名板の設置」では、事前学習で作成した樹名板を森の木々に設置し、さまざまな種類の木があることを実感しました。樹木への関心が深まり、「こんなに木の種類があるんだ」と驚く声も上がりました。

参加団体名

札幌市立義務教育学校定山溪学園

- 小学校の部
- 中学校の部
- 学校外団体の部

当てはまるものにチェックしてください。



# 環境活動ノート



2 枚目

活動名「夢の森」づくり～夢の森づくりは未来へのプレゼント



活動内容を  
記入して  
ください



さっぽろ  
こども環境  
コンテスト  
2025

「森をつくろう」では、エゾシカ食害防止資材（保護管）を作成し、天然苗木を保護しました。保護管をかぶせ、ハンマーを使って支柱を打ちこみ、結束バンドで固定するなど、安全に配慮しながら仲間と力を合わせて作業しました。森を守るために人の手が必要であることを実感していました。作業を通して、互いに声をかけ合いながら進めるなど、協力する姿勢も見られました。

「大きくなあれ」では、種から育てた苗木（クリ3本、トチノキ1本、ミズナラ1本）を植栽し、保護管を設置しました。植えた木と背比べをして記録し、未来の森づくりへの意識が高まりました。生徒たちは自分たちの植えた木を見ながら、「また来年、どれくらい伸びるかな」と未来に思いを馳せていました。

「夢の森に芽生えた新しい命」では、広場のイタヤカエデを掘りとり、ブランコとオオイタドリの間に移植しました。根元に培養土をかけて軽く踏み固め、命をつなぐ活動を行いました。森づくりへの実感をもち、生き物を育てる責任にも気づくことができました。子どもたちは「自分が植えた木が大きくなってほしい」と話し、森に対する愛着が芽生えていました。

参加団体名

札幌市立義務教育学校定山溪学園

- 小学校の部
  - 中学校の部
  - 学校外団体の部
- 当てはまるものにチェックしてください。



# 環境活動ノート



3 枚目

活動名 「夢の森」 づくり～夢の森づくりは未来へのプレゼント



活動内容を  
記入して  
ください



さっぽろ  
こども環境  
コンテスト  
2025

「堆肥づくり」では、木砕コンポストを使い、広場から集めた枯草や枝を入れて踏み固め、堆肥とムシのすみかづくりを行いました。自然の循環や分解の仕組みを学びました。子どもたちは「森のゴミも森を育てるんだね」と気づきを言葉にしていました。

「夢の森に小道をつくろう」では、ウッドチップをまいて遊歩道の整備をしました。森の環境を守りながら人が安全に活動できる工夫を考え、協力して作業に取り組みました。子どもたちは重いウッドチップを運びながらも笑顔で協力し、完成後の道を歩く達成感を味わっていました。

おわりに

先輩たちが守り、つくってきた「夢の森」の歴史を感じながら活動しました。また、今年度植栽した木々が、定山溪学園の児童たちが活動をする頃に大きくなると聞き、「夢の森」づくりが未来へつながっているということに喜びを感じることができました。

参加団体名

札幌市立義務教育学校定山溪学園

- 小学校の部
- 中学校の部
- 学校外団体の部

当てはまるものにチェックしてください。